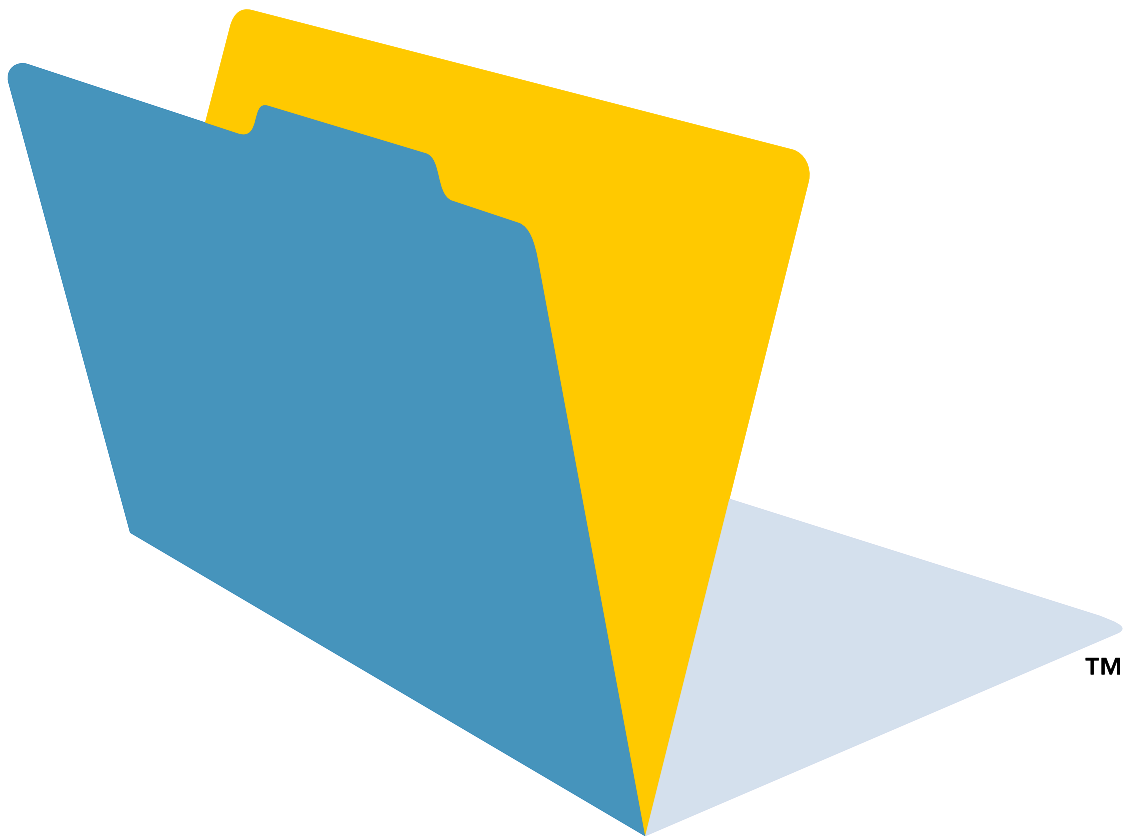


Windows 2000 ターミナルサービスでの ファイルメーカーPro 6 の実行



2002 FileMaker, Inc. All Rights Reserved. FileMaker 及びファイルメーカーは、FileMaker, Inc. の登録商標です。ファイルフォルダロゴは FileMaker, Inc. の商標です。Microsoft、Windows、Windows NT、ならびに Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。その他記載された会社名及びロゴ、製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。また、製品及びサンプルファイル等に登場する会社名、氏名、住所などのデータは全て架空のもので、実在する企業、人物とは一切関係ありません。

目次

第1章

Windows 2000 ターミナルサービスの紹介

Windows 2000 ターミナルサービスについて	1
ターミナルサービスサーバー	1
ターミナルサービスクライアント	1
RDP (Remote Desktop Protocol)	1
Windows 2000 ターミナルサービスを使用する利点	1
システム必要条件	1
ターミナルサービスサーバー必要条件	1
ターミナルサービスクライアント必要条件	2
Windows 2000 ターミナルサービスについて	2
Windows 2000 ターミナルサービスクライアントソフトウェアのインストール	2

第2章

Windows 2000 ターミナルサービスを利用したファイルメーカー Pro 6 の使用

ターミナルサービスサーバーへのファイルメーカー Pro 6 のインストール	3
使用に関する注意事項	4
ファイルメーカー Pro 6 ファイルを使用するための環境	4
単独使用ファイル	4
ファイルメーカー Server への接続	4
ファイルメーカー Pro 6 の機能と制限事項	4

付録 A

ライセンスの必要条件

ファイルメーカー社ライセンス条件	5
ボリュームライセンスアグリーメント (VLA)	5
ボックスセットライセンスアグリーメント (Box Set)	5
Windows 2000 Server ライセンスの必要条件	5
ターミナルサービスライセンスの必要条件	5

第 1 章

Windows 2000 ターミナルサービスの紹介

Windows 2000 ターミナルサービスについて

ターミナルサービスは、あらゆるタイプのネットワーク接続で、多数のコンピュータから Windows 2000 サーバー上にインストールされているアプリケーションにリモートアクセスすることを可能にする Windows 2000 コンポーネントです。

ターミナルサービスには、サーバーとクライアントの通信手段として 3 つのコンポーネント（サーバー、クライアント、およびプロトコル）があります。

ターミナルサービスサーバー

ターミナルサービスをアプリケーションサーバーモードで使用する場合、すべてのアプリケーションはサーバー上で実行されます。ターミナルサービスサーバーは画面情報のみをクライアントに送信し、クライアントのマウスおよびキーボードの入力情報のみを転送します。

ターミナルサービスクライアント

ターミナルサービスクライアントは、シンクライアントテクノロジーを使用して Windows 2000 デスクトップ環境をユーザに提供します。クライアントは、サーバーとの接続を確立するだけで、仮想装置として動作します。

RDP (Remote Desktop Protocol)

ターミナルサービスをインストールすると、RDP (Remote Desktop Protocol) が自動的にインストールされます。RDP は、クライアントをターミナルサービスサーバーに接続するために設定する必要がある唯一の接続です。ネットワークアダプタにつき 1 つの RDP 接続を設定できます。

Windows 2000 ターミナルサービスを使用する利点

- 組織では、Windows 2000 のハードウェアサポート対象外の旧システム上でも、Windows 2000 を展開することができます。
- ユーザは、現在使用している既存のオペレーティングシステムおよびアプリケーションを使い続けることができます。
- 組織では、Windows ベースのアプリケーションを、さまざまなデスクトップ環境に LAN や WAN を通じて配信することができます。
- システム管理者は、ネットワーク上のすべてのデスクトップコンピュータにアプリケーションを個別にインストールする必要がなく、アプリケーションをサーバーマシンにインストールおよびアップデートするだけです。
- 低速のネットワーク接続でも、ネットワーク接続されたアプリケーションを効率的に実行できます。

システム必要条件

Windows 2000 ターミナルサービスに必要なハードウェアは、同時接続するクライアント数とクライアントの使用条件によって異なります。

ターミナルサービスサーバー必要条件

- Pentium 133 MHz 以上のプロセッサ
- 128 MB 以上の RAM (256 MB 以上を推奨)
- 1 GB 以上のハードディスクの空き容量 (2GB 以上を推奨)
- クライアント接続につき 10 MB から 20 MB の追加 RAM

ターミナルサービスクライアント必要条件

- Windows 98、Windows Me、Windows NT 4、Windows 2000、および Windows XP を実行している Intel Pentium プロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ

このバージョンでは、次の Win32 クライアントがファイルメーカー社によってサポートされています。他のクライアントについては現在サポートされていません。

- Internet Explorer 6.0 で動作する Terminal Services Advanced Client (TSAC)

Windows 2000 ターミナルサービスでは、ユーザ間で実行可能なリソースを共有します。そのため、同じアプリケーションを実行する追加ユーザのメモリの必要条件は、最初のユーザがアプリケーションをロードするときの必要条件よりも少なくなります。

最適なパフォーマンスのために次の項目を考慮します。

- EISA、MCA、または PCI などの高性能バスアーキテクチャ。ISA (AT) バスでは、通常のターミナルサービスインストールによって生成されるトラフィックをサポートするための十分なデータの移動が行えません。
- SCSI ディスクドライブ (Fast SCSI または SCSI-2 互換を推奨)。最適なディスクアクセスを得るには、RAID SCSI ディスクシステムを使用します。
- 高性能ネットワークアダプタ。サーバーコンピュータにネットワークアダプタを 2 つ設置し、1 つを RDP トラフィック専用指定します。

Windows 2000 ターミナルサービスについて

Windows 2000 ターミナルサービスをアプリケーションサーバーモードに設定します。Windows 2000 ターミナルサービスを使用可能にする前に、接続するユーザまたはクライアントの数、クライアントにサービスを提供するアプリケーションの種類、ターミナルサービスサーバーへのユーザの接続方法を慎重に検討してください。ターミナルサービスを使用可能にする手順については、次の URL 参照してください。

- www.microsoft.com/windows2000/ja/server/help/ts_set_h_020.htm

他のオンラインリソースについては、次の URL を参照してください。

- www.microsoft.com/japan/windows2000/technologies/terminal/default.asp

Windows 2000 ターミナルサービスクライアントソフトウェアのインストール

ターミナルサービスを使用する必要があるすべてのコンピュータに、Windows 2000 ターミナルサービスクライアントソフトウェアをインストールします。クライアントには 2 つのバージョンがあり、古いコンピュータには 16 ビットのターミナルサービスクライアントを、新しいコンピュータには 32 ビットのターミナルサービスクライアントをインストールしてください。ターミナルサービスクライアントソフトウェアをインストールする手順については、次の URL を参照してください。

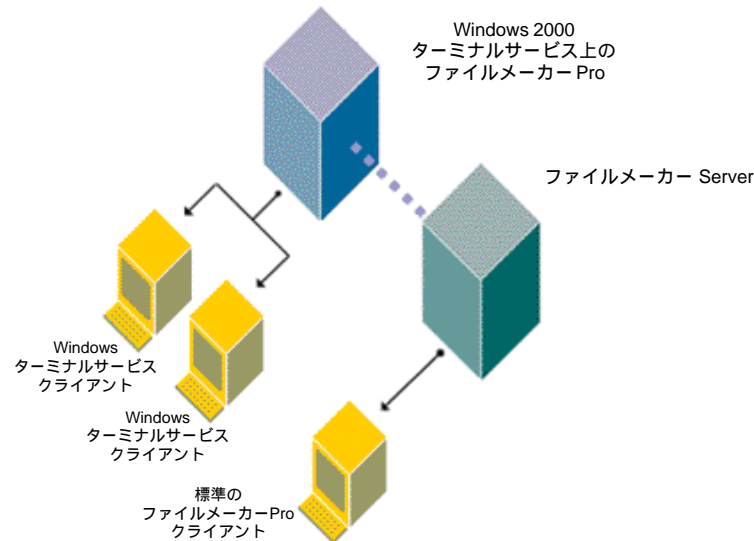
- www.microsoft.com/windows2000/ja/server/help/ts_cli_h_010.htm

他のオンラインリソースについては、次の URL を参照してください。

- www.microsoft.com/japan/windows2000/technologies/terminal/default.asp

第 2 章

Windows 2000 ターミナルサービスを利用した ファイルメーカー Pro 6 の使用



ターミナルサービスサーバーへのファイルメーカー Pro 6 のインストール

注意 インストールには、ファイルメーカー Pro 6 ソフトウェアと、ボリュームライセンスアグリーメント (VLA) またはボックスセットライセンスアグリーメント (Box Set) のインストールキーが必要です。

Windows 2000 ターミナルサービスサーバーにファイルメーカー Pro をインストールするには、次の操作を行います。

1. ターミナルサービスが Windows 2000 Server コンピュータにすでにインストールされ、正しく設定されていることを確認し、管理者としてログオンしていることを確認します。

2. [コントロールパネル] の、[アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックします。

注意 ファイルメーカー Pro ボリュームライセンスアグリーメント (VLA) またはボックスセットライセンスアグリーメント (Box Set) CD-ROM の [Setup] アイコンには直接アクセスしません。

3. [プログラムの追加] をクリックします。

4. [CD または フロッピー] をクリックして CD-ROM を挿入し、[次へ] をクリックします。

[ファイルメーカー Pro 6 セットアップ] 画面が表示されます。

5. 画面上の指示に従ってファイルメーカー Pro をインストールします。

インストールの詳細については『ファイルメーカー Pro 入門ガイド』を参照してください。

6. [アプリケーションの追加と削除] プログラムがインストールを終了したら、[完了] をクリックします。

7. ターミナルサービスサーバーを再起動します。

使用に関する注意事項

- ターミナルサービスを実行するには、128 MB 以上の RAM (256 MB 以上を推奨) が必要です。ファイルメーカー Pro を実行する各ターミナルサービスクライアント接続につき 10 MB から 20 MB の追加 RAM が必要です。
- メモリを必要とするファイルメーカー Pro ソリューションを使用する場合、またはファイルメーカー Pro 以外にも複数のアプリケーションを使用する場合は、クライアントごとにより多くの RAM が必要です。
- Pentium II や Pentium 4 などの、高速な Pentium プロセッサを使用します。

ファイルメーカー社では、Windows 2000 ターミナルサービスクライアントで実行するファイルメーカー Pro ソリューションの使用および開発をサポートしています。ターミナルサービスクライアントをファイルメーカー Pro ソリューションの開発環境として使用する場合、開発に関するいくつかの面で期待通りに機能しないこともあります。テクニカルサポートインフォメーションについては、www.filemaker.co.jp/support を参照してください。

ファイルメーカー Pro 6 ファイルを使用するための環境

単独使用ファイル

単独使用ファイルとして設定されたファイルメーカー Pro ファイルに、ターミナルサービスクライアントからアクセスできます。単独使用のファイルメーカー Pro ファイルのように、ターミナルサービスクライアントで単独使用ファイルを開発および使用することができます。マルチユーザファイルおよびピアトゥピア環境でのデータベースの共有は、ターミナルサービスクライアントではサポートされません。

ファイルメーカー Server への接続

ファイルメーカー Server 5.5 を使用してターミナルサービスサーバーでファイルを共有できます。ファイルメーカー Pro を配置したターミナルサービスサーバーは、ファイルメーカー Server にアクセスしてローカルのファイルメーカー Pro クライアントと同様に、ターミナルサービスクライアントでもファイルメーカー Server でホストされているファイルメーカー Pro ファイルを共有できるようにします。ターミナルサービスサーバーで実行しているファイルメーカー Pro をクライアントで開くと、標準のネットワーク環境でファイルメーカー Server へアクセスするのと同様の方法で、ファイルメーカー Server によってホストされているファイルメーカー Pro ファイルへアクセスすることができます。ゲストとしてファイルを開く方法については、『ファイルメーカー Pro ユーザーズガイド』の 13-6 ページ「ゲストとしてファイルを開く」を参照してください。

注意 ファイルメーカー Server は、Windows 2000 ターミナルサービスと同じコンピュータにインストールしないでください。

ファイルメーカー Pro 6 の機能と制限事項

次のファイルメーカー Pro 6 の機能は、ターミナルサービスクライアントでサポートされません。

- ピアトゥピア環境でのデータベースの共有
- Web 上でのデータベースの公開
- JDBC ドライバ
- Remote Data Access コンパニオン (RDAC)
- Local Data Access コンパニオン (LDAC)
- プラグイン。プラグインの開発者は開発したプラグインがターミナルサービス上で動作可能かどうかを確認する必要があります。

注意 このバージョンでは、Windows 98、Windows Me、Windows NT 4、Windows 2000、および Windows XP のクライアントのみがサポートされています。他のクライアントについては現在サポートされていません。

付録 A

ライセンスの必要条件

ファイルメーカー社ライセンス条件

Windows 2000 ターミナルサービスを利用してファイルメーカー Pro を使用するには、ボリュームライセンスアグリーメント (VLA) またはボックスセットライセンスアグリーメント (Box Set) が必要です。ファイルメーカー Pro 通常製品は、ターミナルサービスと共に使用することはできません。

ボリュームライセンスアグリーメント (VLA)

VLA は、10 ライセンス以上の導入ニーズに柔軟に対応する、一括購入用ボリューム割引プログラムです。VLA では、ご購入いただいたソフトウェアのライセンス数だけソフトウェアをインストールして使用することができます。

ファイルメーカー社のソフトウェア・ライセンスプログラムのご案内および価格表 PDF のダウンロードは次の URL をご覧ください。

- www.filemaker.co.jp/license/index.html

ボックスセットライセンスアグリーメント (Box Set)

Box Set では、企業（事業所）にて従業員数またはコンピュータの保有台数が 50 以上の場合、非常にお求めやすい価格にて、「ファイルメーカー Pro」、「ファイルメーカー Pro Unlimited」、「ファイルメーカー Server」のすべてを、その企業（事業所）におけるすべてのコンピュータにインストールし、全従業員がご使用いただくことができます。

ファイルメーカー社のソフトウェア・ライセンスプログラムのご案内および価格表 PDF のダウンロードは次の URL をご覧ください。

- www.filemaker.co.jp/license/index.html

Windows 2000 Server ライセンスの必要条件

ターミナルサービス使用の有無に関係なく、ファイル、プリンタ、および他のネットワークのサービスを受けるためにクライアントがサーバーにアクセスする場合、実行しているオペレーティングシステムにかかわらず、各クライアントコンピュータが Windows 2000 Server にアクセスするには、Windows 2000 Server CAL (Client Access License) が必要です。詳細については、次の URL を参照してください。

- www.microsoft.com/japan/windows2000/server/howtobuy/pricing/model.asp
- www.microsoft.com/japan/windows2000/server/howtobuy/pricing/tsfaq.asp

ターミナルサービスライセンスの必要条件

Windows 2000 Server から WBT (Windows-Based Terminal) およびアプリケーションを実行するには、サーバー上で実行するアプリケーションとの対話に使用するプロトコルまたはソフトウェアにかかわらず、Windows 2000 Server CAL の他に、Windows 2000 ターミナルサービス CAL が必要です。詳細については、次の URL を参照してください。

- www.microsoft.com/japan/windows2000/server/howtobuy/pricing/terminal.asp

